



分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																			
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・有害化学物質を把握し、適切な管理及び処理に取り組んでいる。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1					
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・設備担当業者の協力を得て、エネルギー使用量を算出しており、社用車はハイブリッド車とEV車も利用している。LEDの使用を徹底している。 ・社内掲示により節電意識向上に取り組んでいる。							7.3						13							
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・設備担当業者の協力を得て、温室効果ガスの排出量を算出しており、化石燃料を原料とする設備は、厨房のガスコンロを除去撤廃している。		2.4						7.2 7.3 7.a				12.4	13	14	15					
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・事業および従業員の活動において、化石燃料により生産されたホテルアメニティやレジ袋、スプーンの使用削減に取り組んでいる。植樹により生物の生息・生育地の創出に取り組んでいる。 ・【予定】雨庭の創設の情報収集を行い、令和7年3月までに実践に移す。						6.6									14	15				
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		・厨房から排出される生ゴミは、微生物により水になるまで分解させ、ごみの量を削減している。 ・再生用紙の利用を推進するとともに、ペーパーレス化、裏紙の利用を促進している。 ・環境に配慮したインク、温室効果ガス排出削減に取り組む用紙を利用しホテルパンフレットを発注している。									9.4				12.2 12.4 12.5		14.1	15				
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・従業員啓発により、節水や汚水等の適切な処理等を実施している。		2.4					6.1 6.3 6.4 6.6 6.b					11.5			14.1 14.2 14.3	15			17	
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		・環境に配慮した製品の仕入れを心掛け、再生紙利用を推進している。										9.4			12.4 12.5	13	14	15				
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。	●		・バイキングを最小化して提供している。顧客のニーズ、属性により、提供するメニューを詳細に検討し提供している。		1	2				6.4							12.3		14	15			17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●		・地域の緑化活動に参加している。ホテル敷地内に植樹、植栽をしている。													11.6 11.7		13.1 13.3		15			17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。	●		・再生可能エネルギープランに加入している。太陽光パネルおよび蓄電池について最新情報を収集し、常に導入を検討している。								7.1 7.2 7.3 7.a		9.4			11.5		13.1 13.3					
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・"伐って、使って、植えて、育てる"の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●		・ホテル敷地内に植樹をし、地域でのボランティア活動で植樹を積極的に提案、実践している。						6				9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15				
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●		・球磨村棚田オーナーになり、田植えに参加している。 ・【予定】令和6年11月までに、稲刈りに参加し、穫れたお米をレストランで使用する。							6.1 6.3 6.6					11.3 11.4 11.5	12.2	13		15				
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●		・売店販売のアイスに付属されたプラスチックスプーンは返却し、独自に木製スプーンを購入して提供している。 ・飲料メーカーと定期的に話し合いを持ち、より環境に優しい製品の仕入れを行っている。 ・紙ストロー使用、テイクアウト用レジ袋は持参を呼びかけている。													12.2 12.5			14				
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●		・社用車は、EV車、ハイブリッド車を導入している。 ・【予定】令和7年3月までに、顧客にもEVで来館を促すため、電気スタンドの設置を予定している。										9.4		11.2		13.1 13.3						
	36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。	●		・2050年CO <sub>2</sub> 排出量実質ゼロを目指し、植樹やJクレジットの活用などカーボンオフセットの取組みを検討している。								7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13						17.2

